

AKAPTOT NEWS

Vol.72●2024.8

TOPICS

資格認定試験・受験コース・応用コース開催

AKA-PTOT 会会誌 Vol.16 2024 同封

▶▶▶*Headline*

▶総会案内（資料 決議;[Google フォーム](#)利用→)

▶第 25 回学術集会のお知らせ・第 24 回学術集会報告

▶令和 6 年度 AKA-博田法 認定試験の受験者募集

▶情報伝達電子化（ペーパーレス化）のご案内

▶動画コンテンツのお知らせ

▶リレーコラム（第 31 回）

akaptot.com



日本関節運動学的アプローチ医学会 理学・作業療法士会
Japanese medical society of Arthrokinematic approach
for Physical・Occupational Therapist



§ 日本AKA医学会理学・作業療法士会 ホームページのお知らせ

<http://akaptot.com/>

§ 『総会開催のお知らせ』

本会における昨年度の事業報告および本年度の事業計画は同封の総会資料の通りとなっております。引き続き様々な状況を鑑みながら前向きに事業の計画・推進を図って参る予定です。

現状として予定されています事項につきましては同資料ならびに本ニュースをご覧ください。

ご意見の有無につきまして皆様もれなく以下のQRコードからお入り下さい。なお、PC利用の場合は当会ウェブサイトからGoogle フォームにアクセスできます。 ***フォーム入力締切 9月末日**



§ 今後の年度事業計画

今後予定されている全国規模の事業内容です。日時は会場の都合により変更となる場合があります。各ブロックでの地域技術研修コース等の事業につきましては当会ホームページに随時掲載されますので定期的な閲覧をお願い致します。

内容	日時	担当ブロック
学術集会		
第 25 回学術集会（東京）	2025 年 7 月 6 日	関東・甲信越ブロック
詳細は記事をご覧ください		
基礎コース		
第 30 回基礎コース（福岡）	2024 年 9 月～11 月（10 日間）	九州・沖縄ブロック
詳細はウェブサイトをご覧ください		
応用コース		
第 11/12 回応用コース（山口）	⑪2024 年 10 月 20 日（認定）	中国・四国ブロック
	⑫2024 年 12 月 12 日（助手）	
詳細は記事をご覧ください		
受験コース		
第 16 回受験コース（東京）	2024 年 12 月 21・22 日	関東・甲信越ブロック
詳細は記事をご覧ください		

その他		
令和 6 年度認定試験（大阪）	2025 年 3 月 2 日	認定委員会
詳細は記事および巻末の案内をご覧ください		
地域技術研修コース（7 月時点企画・予定）		
詳細が決まり次第ホームページに掲載予定です		
関東・甲信越ブロック	9/1 神奈川 11/17 山梨 12/8 栃木 2/2 東京	
東海・北陸ブロック	8/11 愛知	
近畿ブロック	8/18 大阪	
中国・四国ブロック	8/18 鳥取	
九州・沖縄ブロック	9/1 福岡	

§ 第 25 回学術集会（東京）開催のお知らせ

●テーマ：『治療できるセラピストを目指して』

- ・学術集会ホームページ URL：準備中
- ・開催日時：令和 7 年 7 月 6 日（日）
- ・会 場：再調整中
- ・対 象：理学療法士、作業療法士、医師、学生（理学療法科・作業療法科・言語聴覚科）
- ・開催形式：ハイブリット開催（対面式＋web 配信式）
- ・プログラム（仮）：招待講演
教育講演
スキルアップセミナー（基本技術編・臨床治療編）
一般演題：（4 演題）
会長講演

* 詳細は学術集会ホームページにてお知らせ致します。

§ 第 24 回学術集会（大阪）開催報告

第 24 回学術集会 学会長 伊藤浩一

この度、令和 6 年 7 月 7 日（日）に大阪府豊中市にある千里ライフサイエンスセンターにおいて、第 24 回学術集会が盛会のうちに終了いたしました。当日の総参加者は 324 名、現地参加者は 128 名と、多数の皆様にご参加いただきました。

当日は、永堀先生による「AKA-博田法の基礎」を丁寧に説明する基礎講演から始まりました。次に、岡崎先生による特別講演では、「関節機能障害の診断、評価、治療」について、物理医学の観点や診断の重要性を解説いただき、また、学会テーマである技術の本質についても触れていただきました。昼休みには、来場者限定企画として「これができれば AKA-博田法は上手くなる～動画で博

田先生からの衣鉢を継ぐ～」という演題で、農端先生の解説のもと進行了しました。今回の学会テーマの核心に迫る内容であったと思います。午後のシンポジウムでは、井端先生と前田先生による「AKA-博田法、ANT による運動療法と運動性作業療法の修正」に対する発表が行われました。井端先生には関節拘縮の治療手順を、前田先生には ANT を用いた麻痺筋の治療のデモンストレーションを舞台上で実施していただきました。次に、教育講演では「AKA-博田法の技術と関節神経学」という項目で、池谷先生に実際の技術の説明を加えて解説いただきました。その後は一般演題が 4 題提示され、質疑応答も飛び交い、意見交換が活発に行われました。

今回の学会テーマである技術の本質は非常に難しいテーマではありますが、皆様がこの技術の本質に近づくことが、AKA-博田法の理解をさらに深め、技術習得の一助になればと思います。

最後になりますが、学会を迎えるにあたり、近畿の準備委員の皆様、有限会社電マークの納田さんを始め、各関係者の皆様にご協力いただきましたことを、この場をお借りして改めまして深謝申し上げます。



§ 令和 6 年度 AKA-博田法 認定試験の受験者募集

令和 6 年度の認定療法士、指導者助手、指導者の資格認定試験の受験者を募集いたします。今年度は指導者の試験も実施いたします。試験日程と試験会場、受験申込み締切り等を簡単にご案内いたします。詳細は同封の「資格認定試験のご案内」（募集要項）をご覧ください。

なお、指導者の受験については日本 AKA 医学会の HP で「指導医・専門医試験要項」を参照ください。これは日本関節運動学的アプローチ (AKA) 医学会 (aka-japan. gr. jp) の「指導者講習会」の欄に案内されています。

	認定療法士	指導者助手	指導者
試験日	令和 7 年 3 月 2 日 (日)		令和 7 年 3 月 16 日 (日)
試験会場	愛日会館 (大阪：地下鉄御堂筋線 本町駅)		大阪コロナホテル (大阪：JR 新大阪駅)
申込み開始	令和 6 年 10 月 1 日から		令和 6 年 9 月 1 日
申込み締切り	令和 6 年 11 月 30 日 (必着)		令和 6 年 10 月 15 日 (必着)
申込み方法	郵送		

申し込み送付・問合せ先： 〒819-1314 福岡県糸島市志摩師吉 1 2 0 0
可也病院リハビリテーション科 坂本周介
aka-fukuoka@onyx.dti.ne.jp

◆認定療法士 筆記試験の免除制度についてお知らせ

AKA ニュース (Vol. 54 2018. 8) で既にお知らせしております「認定療法士の資格試験～筆記試験免除対象者の追加について～」を下記のように再度掲載します。これらについては平成 29 年度の第 13 回認定試験の成績の結果から適用となっていますので、巻末の「募集要項」を必ず確認のうえお申し込み下さい。

◆認定療法士の資格試験～筆記試験免除対象者の追加について～ (Vol. 54 2018. 8 号のニュースを再掲)

認定療法士の資格試験で筆記試験の点数が 70 点以上の場合は、再度、認定療法士の資格試験を受験する場合、筆記試験を 1 回に限り免除します。なお、この制度は平成 29 年度（第 13 回認定試験）の成績から適用し、平成 30 年度の認定試験から免除しています。

例えば、平成 29 年度の認定試験で筆記試験の結果が 70 点以上の者は、平成 30 年度の認定試験では筆記試験を免除し、実技試験のみでよくくなります。なお、平成 28 年度（第 12 回認定試験）以前の筆記試験の成績は適用しません。筆記試験を免除する制度は、すでに基礎コースでレベル確認テストの筆記試験が 70 点以上の場合に実施していますが、この筆記試験免除対象者の追加によって、今後はこのカードを 2 枚持つ受験者が出てきます。

◆令和元年度（2020 年 3 月）に指導者試験の受験を中断された方へ

令和元年度（2020 年 3 月）の指導者試験が COVID-19 の感染拡大により余儀なく中止となりました。このときの受験者（10 名）は、すでに受験資格の審査が終了していますので新たな審査は必要ありません。

受験を希望される方は、申し込み期間内に申込用紙（1）と返信用封筒（長形 3 号、宛先記入、110 円切手貼付）を送付してください。掲載論文の送付は不要です。これをもって申し込みの手続きが完了したものとします。後は AKA 医学会の認定試験受験申し込みの手続きに進んでください。

認定委員長 井端康人

§ 第 16 回受験コース（東京）のお知らせ

今年度の認定療法士および指導者助手の資格認定試験は 2025 年 3 月 2 日に予定しています。当受験コースは、その受験者を対象に試験対策を兼ねて開催致します。

- ・開催日：2024 年 12 月 21 日（土）・22 日（日）
- ・場所：東京工科大学 蒲田キャンパス 医療保健学部専用棟（12 号館）
- ・アクセス：JR 蒲田駅西口より徒歩 3 分・東急蒲田駅より徒歩 20 分

- ・定員：60 名
- ・対象者：認定療法士試験受験予定者、指導者助手試験受験予定者
申込時に受験資格を有し、今年度受験される方が対象になります。
- ・応募方法：8/1 より募集開始しますので、ホームページよりお申込み下さい。

§ 第 11・12 回応用コースのお知らせ

この度、中国四国ブロックで第 11・12 回応用コースを下記の通り開催する運びとなりました。
応用コースは、当会の有資格者を対象に AKA-博田法・ANT のスキルアップを目的としたコースですが、今回は日程と対象を認定療法士と指導者助手に分けて開催いたします。第 11 回の対象は認定療法士、第 12 回の対象は指導者助手です。

指導は全て当会指導者が担当します。皆様のご参加をお待ちしております。

《研修概要》

- 【日時】 2024/10/20（日） 9 時 30 分～16 時 30 分（第 11 回・認定療法士）
2024/12/8（日） 9 時 30 分～16 時 30 分（第 12 回・指導者助手）
- 【会場】 メディカルフィットネス WINS
(山口県周南市代々木通 2-27 医療法人こうえい会 香田整形外科 3 階、
J R 徳山駅より徒歩 5 分)
- 【研修会内容】 骨密着レベルアップ ～ポジショニングと区別的リラクゼーション～
(AKA-博田法副運動・構成運動技術)
※本ニュース同封の当会会誌 Vol. 16 掲載論文「AKA-博田法における密着」及び
「AKA-博田法における密着 補講」をご一読ください。
- 【単位数】 2 単位
- 【指導体制】 受講生：指導者＝6：1
- 【参加資格】 第 11 回：日本 AKA 医学会 PTOT 会 認定療法士
第 12 回：日本 AKA 医学会 PTOT 会 指導者助手
(医業類似行為の専門職として就労活動をしている方は受講出来ません)
- 【受講費】 15000 円
- 【定員】 各 24 名（先着順）
- 【申し込み方法】 当会ホームページ <https://akaptot.com/> よりお申し込みください。
第 11 回は令和 6 年 9 月 2 日（月）、第 12 回は令和 6 年 10 月 7 日（月）
よりそれぞれ受付開始いたします。

<申し込み入力時の注意点>（こちらの内容を必ずご入力ください）

- 1) 入力必須項目以外で、取得免許・認定資格・領収書発行は必ず選択してください。
- 2) 懇親会はありませんので《参加しない》を選択してください。
- 3) 備考 1 に身長をご記入ください。実技の組み合わせの参考にさせていただきます。
- 4) 携帯電話番号は、休日などの緊急連絡先として使用する場合がありますので、ご入力ください。

*以上の内容に不備がありますと、研修会申込み受理が遅くなります。お間違えのないよう、お願いいたします。

<注意事項>

- ①申し込み後、参加の可否と受講費の入金先などを受付担当者よりメールにてご連絡いたします。
連絡・資料の送付は全てパソコンメールにて行います。アドレスのお間違えにご注意ください。
- ②申し込み後、5日過ぎても当方からの連絡がない場合、下記の連絡先にご連絡ください。
まれに、こちらの連絡先が迷惑メールのフォルダに入ることがありますので、返信がない場合は、そちらのご確認もお願いいたします。

【問い合わせ先】 香田整形外科 リハビリテーション科 木庭裕一

E-mail : akaptotchugoku@yahoo.co.jp

§ 会員への情報伝達電子化（ペーパーレス化）のお知らせ

近年、医学系学会におきまして情報伝達の電子化が進み、会報や抄録などがペーパーレスとなっています。従来の運営方法では、担当者の作業時間の拘束や印刷・郵送費用などの負担が大きくなってきておりました。本会でもこの電子化を導入し、多方面で効率よく会員みなさまに情報を伝達できる仕組みを構築するために、今回取り組みを始めることになりました。すでに、学術集会の案内を試験的に実施しており、今後拡大していきたいと考えております。
みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■現状の運用

- ・新入会者への案内発送
- ・年3回のニュース発送
- ・年1回の会誌発送
- ・各ブロックにおいて、学術集会や研修コースの案内発送

■今後の取り組み

- ・来年度の完全ペーパーレス化に向けて計画
- ・情報を会のウェブサイトを集約。各種資料をダウンロード可能に
- ・ニュースや会誌などのペーパーレス化
- ・新規入会者への初回案内に限り、今後も郵送が必要のため継続
- ・各種情報発信は、メール配信システムを利用して、全会員に配信
- ・これまでのブロック限定の情報発信も常に全国レベルで配信可能
- ・ペーパーレスによる事務局や広報委員の作業削減、印刷・郵送費用など経費削減の効果あり
- ・今年度2024年は、これまでの発送とメールでの案内を並行して実施

■■■会員みなさまへのお願い■■■■■■■■■

★最新のメールアドレスに登録・修正をしてください★

入会歴の長い会員の方は、初回登録時のメールアドレスのままのことが多く、現在使用していないアドレスの場合、今後会から配信するメールが届かない可能性があります。現状、日々確認しやすいメールアドレスに変更をお願いします。

また、入会時登録の際、メールアドレスを入力されていない会員が多く見受けられます。現状の登録状況は自身では確認できないシステムのため、あらためてメールアドレスの入力をお願いします。

●手順

- 1) 会のウェブサイトからログイン
- 2) 会員専用ページへ進む
- 3) 変更手続き>「変更はこちらから」をクリック
- 4) 会員番号などを入力>「変更入力へ」をクリック
- 5) ご連絡先のメールアドレスの項目に、最新のアドレスを入力
- 6) 入力確認画面へ進む

★送信元のアドレスは「akaptotinfo@gmail.com」です。設定の確認をお願いします★

●注意

修正登録した場合、前回登録のアドレスもシステム上残る運用となっています。修正前のアドレスにもメールが配信されますので、必要のない場合は、配信停止手続きを行って下さい。よろしくお願いします。

近畿ブロック理事 前 宏樹

§ AKA 動画コンテンツのお知らせ

現在、会員の皆様の学びの機会をご提供できるよう学術集会や技術のデモ動画を YouTube で限定配信しております。動画では伝わりにくい部分もありますが新入会員の皆様の AKA-博田法に関しての新たな学習としては勿論、ある程度 AKA-博田法を学んできた会員の皆様にも復習の場として学習できる内容となっておりますので是非ご利用下さい。

以下視聴方法を案内します。

1. 日本 AKA 医学会理学・作業療法士会ホームページにアクセス (<http://akaptot.com/>)
2. 会員専用ページにログイン
3. その他の項目の「学術集会動画配信」「技術デモ動画配信」をクリック
4. 「演題名」「技術名」をクリックすると動画が視聴できます。

動画配信担当 赤木 智（近畿ブロック）

「技術の差」

関東・甲信越ブロック 恵信塩山ケアセンター
指導者助手 塩原 真

私がPTになって今年で12年目となった。これまで紆余曲折いろいろなことがあったが、今振り返ると入職した1年目から博田先生による運動療法をたびたび目の当たりし、それを自らの担当患者を通して直接学ぶ機会を得られてきたのは本当に幸運であったと思う。特に初めての臨床診療指導日のことは今でも鮮明に覚えている。臨床診療指導を通して博田先生との技術の差を痛感させられ、それが患者にどれだけ影響を与えるかということを経験となく教えられてきた。

入職当時、私が勤務をしていた病院は慢性期の療養病床であった。私の周りの先輩たちにはAKA-博田法に熱心に取り組んでいる人がいて、私もそんな先輩たちにつられながら終業後によく一緒に練習をしていた。最初のうちは手の形や姿勢を気にするあまり体中に力が入ってしまい何をやってもただただ自分の体が辛く、副運動で関節の動く感覚は全くわからなかった。臨床に取り入れて見たものの、治療効果を得たとは実感を持っていない日が続き、患者の反応も乏しかった。患者層は重症高齢者で寝たきりの患者が多く、治療をしてもほとんど変化を感じられない状況に不甲斐なさを感じていた半面、慢性期患者だからそもそも大きな変化は難しいという言い訳で自分自身をごまかしていた。

そんな折、初めての博田先生臨床診療指導の日を迎えることになる。入職して半年が経っていた頃だ。当時、病院には年に1回博田先生が臨床診療指導に来て下さることになっていた。先生に診てもらえる患者は人数に限りがあったが、幸運なことに入職以来私が担当していた片麻痺患者を診てもらえることになった。この片麻痺患者は、発症後2年近く経過しており、麻痺側上肢の筋緊張が高く肘は伸びず、肩は動かすと痛みが強く他動運動は困難であった。歩行は非麻痺側へ重心が変位し分回し歩行を呈していた。この患者の診療が始まった。博田先生の流れるような評価・検査に頭がついていくのがやっとだった。AKAによる治療後、博田先生が痛みの強い肩関節を動かし始めた。私が全く動かせなかった肩関節が既に90度曲がっていた。博田先生は更に伸張運動を行うが患者は痛みを訴え無い。患者が肩をじっと見つめていたので痛みを我慢しているのかと思ったが、それは動かされても痛みがないことに驚いていたからだと後日患者自身から知らされた。一連の治療が終わった。時間にして10分程度だったと思う。最後に歩かせてと言われた。普段のように後方腋窩介助にて行ったが、介助した手から伝わる患者の筋緊張と下肢の振り出しが昨日までと違うことは明らかだった。患者の体は全体的に筋緊張が緩和し、歩行時の非麻痺側への体幹の変位も少なかった。筋緊張の高かった肘関節の被動性は昨日までとはまるで別物で上肢全体が柔らかかった。治療後、患者は体全体が楽になり良く動く喜んでいて。担当になってから自分なりにこの患者と向き合ってきたつもりだったがこれほどの変化を感じたことは一度も無い。何故これほどの変化がこの短時間に起こったのか当時の私は理解できず混乱していたが、何はともあれ私が行ってきた半年間の治療は博田先生の10分の治療で覆された。今思えば筋緊張と思っていたものは関節静的反射の亢進が影響していて、麻痺で振り出しが悪いと思っていた下肢は関節運動反射の減弱が影響していたのであろう。そして痛みのあった肩関節の可動域改善は拘縮治療における自分の技術不足に他な

らない。自分の技術の低さを思い知るとともに技術がある人が治療をすると慢性期でもここまで患者に変化をもたらすことが出来ることに、心からの感動と臨床家としての希望を胸にすることができた。

その日がきっかけとなり博田先生のような高い技術をもつ臨床家になりたいと強く思うようになった。そして当時AKA-博田法の最上位資格であった指導者になるという目標が生まれた。それから、毎年博田先生が臨床診療指導で来院された時には出来るだけ自分が治療に難渋する担当患者を診てもらうことにした。博田先生の治療後、スパズムで苦しんでいた脊損患者は治療日以降スパズムが激減した。また感覚が消失していた小脳出血患者は治療直後から感覚が回復した。1次障害と思われた多くの障害が実は関節機能障害を含む2次障害であり、これらは技術があれば改善できることを理解した。おかげでAKA-博田法の技術を高めることが臨床家としての道しるべとなった。

AKA-博田法の治療技術が難しいことは多くの先生方が述べている。しかし技術の研鑽を続ければ、いつか自分の手であのレベルの治療が出来るようになると信じている。博田先生と私の技術の差は途方も無い。しかし、博田先生がこれまで示してくれてきた治療の可能性を閉ざすべく、今できることを続け少しでもあの技術に近づけるよう前に進んでいきたい。

§ 都道府県別会員数 835名 (令和6年7月24日現在)

北海道	6	青森	1	秋田	4	岩手	4	宮城	4	山形	11
福島	1	茨城	1	栃木	25	群馬	10	埼玉	20	千葉	41
東京	37	神奈川	86	新潟	1	富山	1	石川	1	福井	3
山梨	151	長野	4	静岡	14	岐阜	3	愛知	18	三重	2
京都	19	滋賀	7	奈良	12	和歌山	8	大阪	92	兵庫	25
岡山	6	広島	10	島根	5	鳥取	9	山口	36	徳島	13
高知	11	香川	12	愛媛	7	福岡	50	長崎	25	熊本	11
大分	8	佐賀	1	宮崎	2	鹿児島	5	沖縄	10		

§ 日本 AKA 医学会理学・作業療法士会

事務局 E-mail : aka-pt@dream.ocn.ne.jp(お問合せは E-Mail をお願い致します)

（編集後記）

今年是一年開催間隔の短いオリンピックイヤーで編集作業の現段階では開会式が終わった段階…ニュースが皆様のお手元に届く頃には閉会式が終了しているくらいでしょうか。開催地がフランスということもあり、深夜放送で寝不足であった方も多かったのではないのでしょうか。日本はメダルどれくらい獲得できているのでしょうか。数年間毎日毎日この日この舞台を目標に練習を積み重ねてきた選手達に力をもらい、とりわけ技術職の我々セラピストとしてはその姿勢・プロセスを見習いたいものです。そんな選手達と共通する部分も多いかと思いますが、無名の人々のあくなき挑戦とその過程により誰もが知るレガシーを伝えるドキュメンタリーテレビ番組（NHK）「新プロジェクトX～挑戦者たち～」が18年ぶりに今年4月から放映開始になっています。編集者は20数年前の前回からとても好きな番組で楽しみに観ていて、こんな発想、こんな努力と失敗、年月があって形造られたんだなあと毎回感動し、同時にAKA-博田法の開発・歴史やそれに関わってこられた先人の方のことを想い重ねて頭に思い浮かべます。いつの日か博田先生・博田法がこうやって紹介されるといいなあなんてこともちらりと考えたりします。もしお時間があるときに番組を観てみて下さい。（NHK 総合テレビ毎週土曜 19:30～20:15）

さて、当会ではコロナ前の事業内容に少しずつ戻ってきて、全国レベルの事業はほぼ企画できるようになっています。7月には大阪で学術集会が開催され、さすがAKA-博田法・ANT発祥の地、とても充実した内容でとても有意義な一日になりました。来年は関東での開催の予定です。できましたら、皆さんと会場でお目にかかりたいですね。地域技術研修コース含め、今後の事業の詳細は当会ホームページに随時アップされますので度々ご確認下さい。皆様お誘いあわせの上奮ってご参加の程、宜しくお願い致します。

今回のリレーコラムは山梨県の指導者助手の塩原先生が執筆下さいました。編集者も以前講演や会誌で紹介しましたが、似たような経験があり目に浮かぶようです。同じ仲間が全国に少しでも増えるといいなと思いつつ、そういった衝撃を与えられるような技術を持ち合わせていたい、いなければ…と感じます。

今年度の総会も資料を送付し、決議については電子化推進の観点からGoogleフォームでの入力となっていますのでもちろん各自ご入力の程、何卒宜しくお願い致します。

まだまだ酷暑が続くかと思います。編集時点ではコロナも急増しています。皆様くれぐれもご自愛ください。

令和6年度 関節運動学的アプローチ（AKA）－博田法 資格認定試験のご案内（募集要項）

令和6年度 **認定療法士、指導者助手、指導者**の資格認定試験を下記の要項で実施しますので受験者を募集いたします。なお、上級指導者の認定試験については募集しておりません。

～「認定療法士および指導者助手」の受験募集～

1. 試験日程：令和7年3月2日（日） 試験（筆記・実技）

各資格の試験日時につきましては9月よりホームページ上でお知らせしますのでご確認ください。

2. 試験会場：「愛日会館」（あいじつかいかん） アクセス参照 <http://aijitsu.jp/>

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町4丁目7-11 TEL (06) 6264-4100

3. 交通案内：マップ参照

◎新幹線「新大阪」から御堂筋線乗り換え「本町」まで10分

◎地下鉄御堂筋線「本町駅」 4号階段から （新大阪からは御堂筋線をご利用ください）

地下鉄四つ橋線「本町駅」25号階段から

地下鉄中央線 「本町駅」17号階段から いずれも徒歩5分程度

4. 受験資格：以下の条件を全て満たしている会員

《認定療法士》

①日本 AKA 医学会理学・作業療法士会に**継続**入会后、2年以上※1

②学術集会 取得単位（6単位、または3回以上参加）※2

③地域技術研修会 取得単位（20単位以上）※3

《指導者助手》

①認定療法士に登録されていること。

②学術集会 取得単位（8単位、または4回以上参加：入会より通算）※2

※1 入会年度から起算して3年目より受験可能（今回、令和4年度以前に入会）

※2・3 AKA 医学会の主催する学術集会の取得単位を認めます。

ただし、単位登録が認められたもの、または受講証で確認ができるものに限りします。

5. 受験内容

《認定療法士》

①筆記試験（AKA・ANTに関連する専門基礎および臨床問題）50問（五者択一問題）※4

②実技試験（副運動技術・構成運動技術）**15手技**

※4 筆記試験免除制度（基礎コース受講者・平成29年度認定試験受験者の成績から有効）

日本 AKA 医学会理学・作業療法士会が主催して実施された第1回 AKA 基礎コース以降の受講者で、レベル確認テストの筆記試験が70点以上の評価を受けた者で、免除申請のあった者について筆記試験の免除が受けられます。但し、免除は基礎コース1回の受講に対し一度のみです。

筆記試験免除制度を新たに追加しています。以下に該当する方は筆記試験を免除します。

対象者は平成29年度以降の認定療法士資格試験で筆記試験が70点以上の評価を受けたもので、免除申請のあったものについて筆記試験の免除が受けられます。なお、認定試験の結果を受領した際に同封されていた「成績証明書」を申込み時に提出してください。この免除は1回の筆記試験に対して一度のみ有効です。

《指導者助手》

①実技試験（副運動技術・構成運動技術） **20 手技**

試験問題に関する参考図書：AKAー博田法 第2版 医歯薬出版（2007.10 出版）等

6. 受験料：3万円（受験資格審査通過後に指定口座に振り込み）

7. 可否および認定手続

《認定療法士》

筆記試験および実技試験の成績が一定の合格基準を満たした場合、認定します。

なお資格認定合格者は認定登録（有料）手続きが別途必要となります。

また資格更新制度に基づき5年ごとに、更新基準を満たしたものについて更新が行われます。

《指導者助手》

実技試験の成績について一定の合格基準を満たした場合、認定します。

なお資格認定合格者は認定登録（有料）手続きが別途必要となります。

また資格更新制度に基づき5年ごとに、更新基準を満たしたものについて更新が行われます。

8. 申込方法：当会ウェブサイトから申込用紙をダウンロード・印刷して必要事項を記入の上、下記の通り郵送してください。

郵送書類

1. **認定療法士受験者**：受験申込書（1）、（2）、（3：免除制度利用の場合）
2. **指導者助手受験者**：受験申込書（1）、（2）
3. **返信用封筒（長形3号、宛先記入、110円切手貼付）**

受験資格審査の上、受験料口座振り込み先、受験票および受験スケジュール等を送付します。

*受験票の送付は12月中旬～下旬になります。

郵送先 〒819-1314 福岡県糸島市志摩師吉 1200
可也病院リハビリテーション科 坂本周介
表に「試験申込書在中」と記入してください

9. 申込期間：令和6年10月1日～11月30日（必着）

10. 問合せ先：受験に関しての問い合わせはEメールで下記まで。必ず会員番号を記載してください。

可也病院リハビリテーション科 坂本周介 aka-fukuoka@onyx.dti.ne.jp



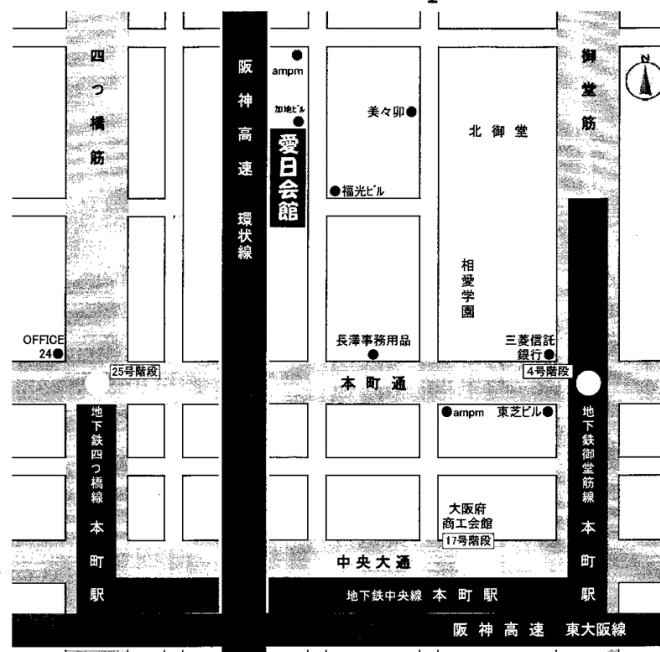
◎新幹線「新大阪」から御堂筋線乗り換え「本町」まで10分

地下鉄御堂筋線「本町」4号階段から 徒歩5分

◎添付マップ参照

◎アクセス参照 <http://aijitsu.jp/>

愛日会館 Access Map



〒541-0053
大阪市中央区本町4丁目7-11

TEL (06)6264-4100
FAX (06)6264-4101
Homepage URL: <http://aijitsu.jp/>
E-mail: info@aijitsu.jp

地下鉄 御堂筋線「本町駅」 4号階段から
地下鉄 四つ橋線「本町駅」 25号階段から
地下鉄 中央線「本町駅」 17号階段から いずれも5分程度です。

～「指導者」の受験募集～

令和6年度 指導者資格認定試験の受験者を募集します。以下の案内に従って応募してください。なお、指導者認定試験は日本AKA医学会が実施します。

受験するまでの手順として二段階の申し込みが必要となります。日本AKA医学会に受験申し込みをする前に、まず当会で指導者の受験資格について審査を行ないます。この審査で受験資格が認められたら、次に日本AKA医学会の認定試験の受験を申し込みます。指導者の受験資格については応募後に認定委員会が審査を行います。その後、受験可否について本人宛てに連絡をいたします。

なお、日本AKA医学会の認定試験についての案内はHPを必ずご確認ください。日本関節運動学的アプローチ(AKA)医学会 (aka-japan.gr.jp)の「指導者講習会」で案内されています。

第一段階 受験資格の有無について事前審査の申し込み

1. 受験資格：（当会で定めた以下の条件を全て満たすもの）

《指導者》

- ①指導者助手の登録後2年以上経過しており更新の見込みがあること。
- ②日本AKA医学会理学・作業療法士会が主催する技術研修会（基礎コース、フォローアップコース、地域技術研修コース）の指導単位が**6単位**以上であること。
- ③日本AKA医学会理学・作業療法士会が主催する学術集会、または日本AKA医学会学術集会に通算7回（14単位）以上参加していること。
- ④AKA一博田法に関する学術論文等があり、その内容には関節包内運動に関する記述および考察があること。なお、その学術論文は印刷中または印刷されているものに限る。
- ⑤倫理規定を順守していること。

2. 申込方法：当会ウェブサイトから申込用紙をダウンロード・印刷して必要事項を記入の上、下記の通り郵送してください。

《指導者》

1. 受験資格《指導者》①～③については同封の申込用紙（1）と（2）に記入
2. 上記④については掲載論文5部（コピー可）
*ただし、新基準（平成27年より施行）で受験歴のある場合は必要ありません。
3. 返信用封筒（長形3号、宛先記入、110円切手貼付）1通
試験結果等についてお知らせします。
4. 受験の可否については、認定委員会での単位確認と論文査読、理事会での倫理規定審査後に連絡いたします。
5. 受験が認められれば、受験者が日本AKA医学会案内の認定試験受験申込手続きへ進み、受験することができます。

申込先および問合先：〒819-1314 福岡県糸島市志摩師吉1200

可也病院リハビリテーション科 坂本周介

aka-fukuoka@onyx.dti.ne.jp

※郵送は表に「試験申込書在中」と記入してください。

第二段階 日本 AKA 医学会への認定試験受験申し込み

受験資格の事前審査で受験を認められたものは、次に AKA 医学会認定試験に申し込む必要があります。
申し込みについては、日本 AKA 医学会の案内を HP で必ずご確認ください。日本関節運動学的アプローチ(AKA)医学会 (aka-japan.gr.jp)の「指導者講習会」で案内されています。

以下に日本 AKA 医学会の認定試験要項と試験前講習会について簡単に記します。

1. **試験日程**：令和7年3月16日（日） 午前10：00～ （受付：9：30～）
試験時間については AKA 医学会からの案内に従う。
2. **試験会場**：「大阪コロナホテル」 （TEL：06-6323-3151）
〒533-0031 大阪府大阪市 東淀川区西淡路1丁目3-2 1
3. **交通案内**：JR「新大阪駅」から徒歩2分 osakacoronahotel.co.jp/
4. **試験内容**：「令和6年度 日本 AKA 医学会 指導医・専門医試験要項」に準ずる。
日本 AKA 医学会の実施する実技試験
5. **受験料**：30,000 円 （日本 AKA 医学会の認定試験受験要領で指定された口座に振り込む）
6. **申し込み締め切り**：令和6年12月24日
7. **試験前講習会**：令和7年1月12日（日） 10：00～15：00 於：大阪コロナホテル
AKA 医学会 HP で認定試験の案内と同じページに講習会の案内があります。（上記を参照）

※ 合否および認定手続

《指導者》

AKA 医学会の実技試験の成績が一定の合格基準を満たした場合、当会理事長の承認を経て認定します。
なお、資格認定合格者は認定登録（有料）手続きが別途必要となります。
また資格更新制度に基づき5年ごとに、更新基準を満たしたものについて更新が行われます。

◆令和元年度（2020年3月）に指導者試験の受験を中断された方へ◆

令和元年度（2020年3月）の指導者試験が COVID-19 の感染拡大により余儀なく中止となりました。
このときの受験者（10名）は、すでに受験資格の審査が終了していますので新たな審査は必要ありません。

受験を希望される方は、申し込み期間内に申込用紙（1）と返信用封筒（長形3号、宛先記入、110円切手貼付）を送付してください。掲載論文の送付は不要です。これをもって申し込みの手続きが完了したものとします。後は AKA 医学会の受験申し込みの手続きに進んでください。